

「令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）」新旧対照表

(旧)	(新)	理由
<p>令和2年度以降の幌延深地層研究計画（案）</p> <p>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料・バックエンド研究開発部門 幌延深地層研究センター</p> <p>令和元年8月2日</p>	<p>令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)</p> <p>国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料・バックエンド研究開発部門 幌延深地層研究センター</p> <p>令和元年8月2日 <u>令和元年12月6日改訂</u></p>	<p>・改訂日の表示</p>

(旧)	(新)	理由
<p>中略</p> <p>これらの研究課題については、令和2年度以降、第3期及び第4期中長期目標期間を目途に取り組みます。その上で、国内外の技術動向を踏まえて、地層処分の技術基盤の整備の完了が確認できれば、埋め戻しを行うことを具体的工程として示します。</p> <p>なお、研究開発を進めるにあたっては、将来的に、当初の計画の研究対象の範囲内において、国内外の関係機関の資金や人材を活用することを検討します。</p> <p>幌延深地層研究センターでは、これまでどおり、北海道および幌延町との協定を遵守するとともに、安全確保を第一に調査研究を進めていきます。</p>	<p>中略</p> <p>これらの研究課題については、令和2年度以降、第3期及び第4期中長期目標期間を目途に取り組みます。その上で、国内外の技術動向を踏まえて、地層処分の技術基盤の整備の完了が確認できれば、埋め戻しを行うことを具体的工程として示します。</p> <p>なお、研究開発を進めるにあたっては、将来的に、当初の計画の研究対象の範囲内において、国内外の関係機関の資金や人材を活用することを検討します。</p> <p>幌延深地層研究センターでは、これまでどおり、<u>研究計画の遂行に当たっては、最終処分場としないことや研究終了後は埋め戻すことなどを定めた北海道および幌延町との協定を遵守するとともに、安全確保を第一に調査研究を進めていきます。</u></p>	<p>・ 確認会議の反映</p>